



# 私のいちおし本 「十二支のおはなし」

内田 麟太郎 文 山本 孝 絵

選者：国見中学校 教頭 腰 俊昭



今年のはつ年です。たつは「龍・竜」のことです。想像上の生き物ですが、天高くのぼるイメージが強く、幸運を呼ぶとも言われます。どんな一年になるか、楽しみです。

さて、この絵本はお正月に神様のところへ挨拶に行くことになった動物たちのお話です。絵本の中のイラストにも注目してください。あなたの干支の動物はどんな風に描かれているのでしょうか。ちなみに、私の干支の動物は8番目に神様のところに着いたようです。

## 今月の新刊

### 【銀河アリーナ図書室】

【一般】

ほどよく忘れて生きていく

藤井 英子 著

後悔しない、競争しない、我慢しすぎない。心はカラッと、人づきあいはサラッと、人生はさっぱりと... 89歳で開院、いまなお現役の漢方心療内科医が、“軽くなる”生き方を指南する。



### 【文化センター図書室】

【一般】

4アウト ある障害者野球チームの挑戦

平山 譲 著

野球も人生も、諦めていた。このチームに出会うまでは...。病気や事故に打ち克って「障害者野球リーグ」で日本一を目指す男たちの汗、涙、そして情熱のノンフィクション物語。



【児童】

ふたりのももたろう

木戸 優起 著／キハラケンタ 絵

「鬼とたたかうももたろう」の一般的なストーリーと、「鬼に育てられたももたろう」の創作ストーリーの2つの視点で読む、じゃばら構造のしかけ絵本。“相手の立場になって考える”ことを学ぶきっかけを提供する。



【児童】

牧野富太郎物語 天真らんまんに草木と歩く

谷本 雄治 文／煮たか 絵

酒造りの家業を継がず、植物学者の道を歩み始めた牧野富太郎。後に「日本植物学の父」と呼ばれる富太郎が、天真らんまんに、そしてひたむきに植物への愛を貫いた生涯を描く。



その他の新刊

【一般】和食屋が教える、旨すぎる一汁一飯 汁とめし

笠原 将弘 著

世界でいちばん透きとおった物語

杉井 光 著

【児童】パティシエにおしえてもらった子どもがつくれる

プレゼント菓子

柴田書店 編

きみのそばにいるよ

いぬい さえこ 作・絵

その他の新刊

【一般】アボカドの種

俵 万智 著

月のうらがわ

麻宮 好 著

【児童】いえ あるひせんそうがはじまった

カテナ・ティホゾーラ さく／

オレクサンドル・プロードン え／すぎもと えみ やく

願いがかなうぼかぼか魔法

あんびる やすこ 作／絵